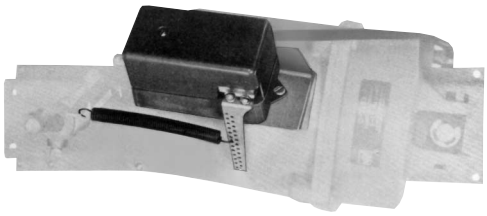
D-9502
パイロットポジショナ（ダンパ操作器用）

概　　要

D-9502 パイロットポジショナは，ダンパ操作器に装着され，ダンパを安定した正確な位置に調整，保持させるために使用される機器です。ダンパ操作器は，本器により，優れた操作性と，安定した連続制御を実現します。

D-9502は，工場出荷時，D-3000シリーズダンパ操作器に付けられた機器としてもご利用いただけます。また，二段制御用キット（別途手配）により，D-3153ダンパオペレータを二段制御用としてもご利用いただけます。



D-9502

仕　　様

形　　名：D-9502
動　　作：連続，正動作
スタート点調整範囲：14～84kPa
スパン調整範囲：21～91kPa
最大供給圧力：175kPa
空気管接続口：5/32または1/4 O.D.ポリチューブ用
バーブフィッティング
空気消費量：0.005Nm³/h
出力空気容量：0.96Nm³/h
許容周囲温度：－29～＋66℃
材　　質：
本　　体；アルミニウムダイカスト
ダイアフラム；合成ゴム
質　　量：0.91kg

コード番号

ご注文の際は，「形名＋仕様コード」，すなわちコード番号を指定してください。

〔例〕D-9502-9

形　名	仕様コード	内　容
D-9502	……	パイロットポジショナ（ダンパ操作器用）
キット内容	－5……	D-3244，D-3246** 用キット
	－8……	D-3153用キット
	－9……	D-3153用（二段制御）キット

（注1）ポジショナキットは，ポジショナ本体，取付用プレート，スプリングで構成されています。

（注2）＊＊：スプリング（D-9502-612），ポジショナスプリングブラケット（D-9502-100）を含めて手配してください。

動　　作

操作器のシャフトからフィードバックした力は，ポジショナに伝わります。そして，ポジショナは，流体の変動を調整し，調節器の出力に応じたダンパ開度を維持します。

供給圧は，D-9502パイロットポジショナのリレーに入り，パイロットチャンバのパイロット圧がスタート点を超えた時，操作器に入ります。そして，操作器のシャフトを動かします。シャフトの動きは，ポジョショナスプリングとレバーアームを経てリレーにフィードバックされ，パイロット圧をバランスさせます。すべての力が平衡に達したとき，D-9502は，操作器への供給圧を止めます。操作器は，このような機構により，調節器からの出力圧に比例した位置をとります。シャフトの位置が変化するとリレーの平衡状態が失なわれ，D-9502は，供給圧を増減しながらシャフトの位置を補正します。

取り扱い

1.　製品が届きましたら

D-9502パイロットポジショナ（ダンパ操作器用）がお手元に届きましたら外観の確認を行い，損傷のないことをご確認ください。また，本体に有る製品銘板に記載されているコード番号がご注文どおりであることをご確認ください。

2.　取り付け

D-9502パイロットポジショナは，取付用プレートを使用して，ダンパ操作器に，直接取り付けられます。また，D-3153ダンパ操作器の場合，パイロットポジショナ付きでご利用いただけます。

D-9502を取り付ける際，カバーの取り外しを行えるスペースをとってください。

3.　動作レンジ

動作レンジは，スパン調整とスタート点調整により決まります。レンジの一方は，操作器が動き始めるパイロット圧を，他方は，操作器が完全に停止する圧力を意味します。動作スパンは，この両者の差となります。

© 2002 Johnson Controls, Inc.

4. 動作スパン

動作スパンは，21～91kPaの範囲で可変です。スパンは，パイロットスプリングの一端を，希望スパンに相当するレバーアームの穴に置くことで決まります。レバーアームの一番内側の穴を使用した場合，動作スパンは21kPaとなり，一番外側の穴を使用した場合，91kPaとなります。

5. スタート点

スタート点は，操作器が動き始める圧力値を意味します。スタート点は，14～84kPaの範囲で可変です。本体下部にある調整ネジを時計方向に回すと，スタート点は低くなり，反時計方向に回すと高くなります。

注　記

・スタート点圧力と作動スパンの合計値が，ポジショナ供給圧より超えないように，注意してください。

6. 調整

スタート点，作動スパンの調整を下記の手順で行ってください。

調整例 ：操作器ノミナルスプリングレンジ；56 ～ 91kPa
：希望作動レンジ；42 ～ 91kPa

(1) パイロットスプリングの一端をレバーアームの動作スパン48kPaに相当する穴に引っかけ，他端をスプリングがレバーと垂直になるスプリングプレートの穴に引っかけます。

(2) パイロット信号圧42kPaをパイロットポジショナに供給します。

(3) カバーを外し，操作器が動き始めるまで，調整ネジを時計方向に回します。
出力圧は，ラインゲージによる方法か，本体にあるテストポートを利用して，テストキットにより確認できます。

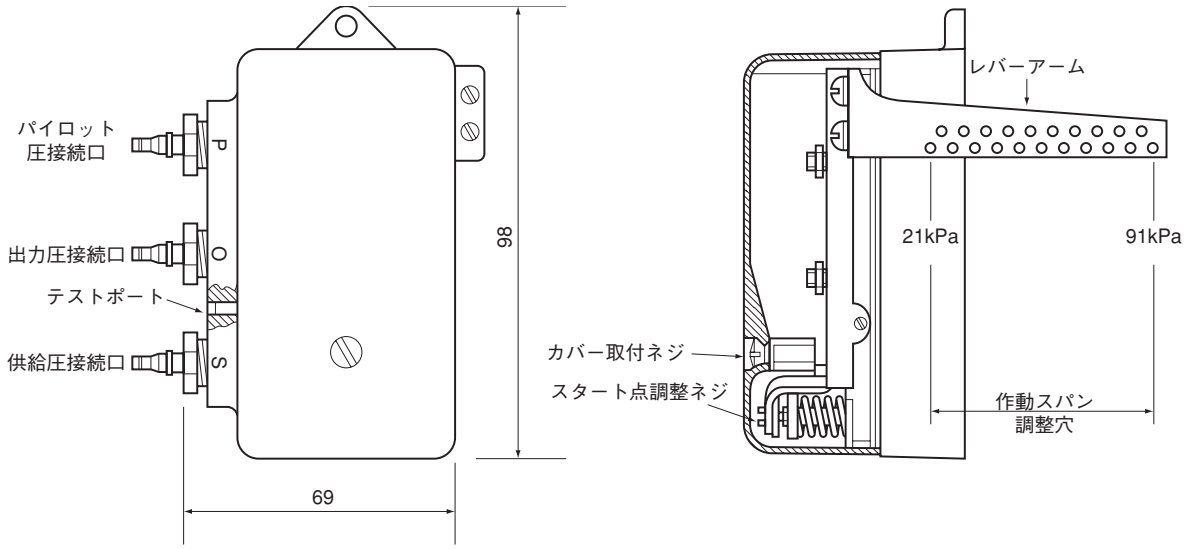
(4) パイロット信号圧91kPaを供給し，操作器が最大位置となることを確認します。

注　記

・スタート点調整は，動作スパンに影響を与える場合がありますので，この場合，動作確認の後，レバーアームの異なる穴を選択してください。

外形寸法

単位：mm


パイロット
圧接続口
出力圧接続口
テストポート
供給圧接続口
P
O
S
98
69
レバーアーム
21kPa
91kPa
カバー取付ネジ
スタート点調整ネジ
作動スパン
調整穴

⚠ 安全に使用するためのご注意

- ご利用の前に取扱説明書をよくお読みの上，正しくお使いください。
- 安全のために本製品の取り付け・結線は電気工事，計装工事などの専門の技術を持つ方が行ってください。
- この製品は，人命に関わるような状況下で使用される機器，あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製造されたものではありません。
- 本機器の故障や異常がシステムの重大な事故を引き起こす場合，事故防止のために外部に適切な保護回路を設置してください。
- 当社サービスマン，もしくは認定された人以外，機器内部にふれないでください。

Johnson Controls

ジョンソンコントロールズ株式会社
www.johnsoncontrols.co.jp

Printed in Japan